

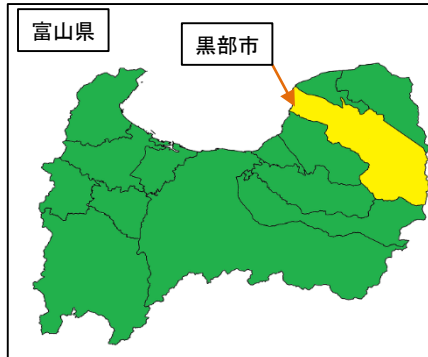
あけび

明日集落協定（富山県黒部市）

条件不利地で栽培した「そば」を活用した交流促進と共同活動を通じた地域の話し合い

協定面積:田 4.1ha(急傾斜1.5ha、緩傾斜2.6ha)

協定参加者:農業者8名、農業法人1 協定開始:平成13年度



地域の概要・経緯

- 当該集落協定地区は、黒部市中心部から東に約12km、黒部川扇状地の扇頂にある愛本堰堤の北に位置する特別豪雪地帯。
- 集落の農業者の高齢化や担い手の減少に加えて、特にサルによる被害が増加する中、平成13年度から中山間地域等直接支払制度を実施。
- 平成22年度から、協定農用地と里山が接する箇所には電気柵を設置し、平成26年度から、協定農用地を含め地域全体を包囲するように里山との境目に沿って延長約3.5kmに渡り電気柵を設置。
- 共同活動による水路・農道や周辺林地の草刈りなど、農業生産活動等を維持するための体制を構築。



【協定農用地】



【電気柵の設置】

取組の概要

- 平成27年度に法人化した「(農)アグロアケビ」など、担い手への農地の集積により耕作放棄地の発生を防止。
- 日頃からの話し合いにより、毎年行う電気柵の設置・撤去作業を集落の行事に位置づけ、集落の約8割の世帯が作業に参加して獣害対策に取り組む。
- 地域全体を包囲する電気柵からの出入口は、協定参加者の創意工夫によりアルミ建材の廃材等を利用した手作りの扉を設置。
- 畦畔に防草シートを張り、草刈り作業の労力軽減に取り組む。
- 協定農用地の最上部で栽培した「そば」の販売や、その「そば」を使って毎冬開催する「そば収穫祭」で集落の世代間交流等に取り組む。



【防草シート張り】



【手作りの扉】



【そば収穫祭】